

第14回

徳島大学研究者との集い

ものづくり・加工技術開発に取り組む研究者達の素顔

日時：平成24年10月2日（火） 14:00～17:30

会場：大阪大学中之島センター 3階

懇話会は同センター6階 徳島大学サテライトオフィス

主催：徳島大学 産学官連携推進部

協賛：徳島大学工業会

徳島大学工業会近畿支部連合会

第1部 講演会 14:00～

14:00～ 主催者挨拶

14:05～ 講演者：石田 徹 教授

大学院ソシオテクノサイエンス研究部（工学部 機械工学科 生産システム講座）

演題：**放電加工による曲がり穴および断面変化穴の創成**

概要：製品を設計する際、製品の形状自由度は加工が実現できる形状自由度に依存するが、加工の形状自由度はそれほど高くはないため、これが製品の機能の限界が決めてしまう。この限界を打破するため、これまで加工が不可能とされてきた、軸形状が曲線状の穴（曲がり穴）や断面形状が変化する穴（断面変化穴）を放電加工によって創成する方法を開発した。

14:45～ — 石田先生との名刺交換（休憩） —

14:55～ 講演者：日野 順市 教授

大学院ソシオテクノサイエンス研究部（工学部 機械工学科 知能機械学講座）

演題：**機械振動の動特性推定および制御技術の開発**

概要：周波数領域部分空間法による機械構造物の固有振動数を同定する方法、形状記憶合金の温度変化による特性の変化を利用したセミアクティブ動吸振器により、構造物の振動を制御する手法について説明する。

15:35～ — 日野先生との名刺交換（休憩） —

15:45～ 講演者：米倉 大介 准教授

大学院ソシオテクノサイエンス研究部（工学部 機械工学科 生産システム講座）

演題：**表面改質技術を応用した材料の高機能化**

概要：表面熱処理法やPVD法に代表される表面改質技術は既存材料の摩擦係数、耐摩耗性、耐食性、濡れ性、疲労特性などを改善できる手法として広く用いられている。また、ステンレス鋼表面を適切に研磨することで、コーティングを用いずに粉体の付着や堆積を抑制することもできる。これらの技術と応用について紹介する。

16:25～ — 米倉先生との名刺交換（休憩） —

第2部 研究者との懇話会 16:35～17:30

●お問い合わせ先：徳島大学 産学官連携推進部

電話：088(656)7592 FAX：088(656)7593

E-mail：center@ccr.tokushima-u.ac.jp



●石田 徹
Ishida, Tohru



職名：教授
学位：工学博士（大阪大学）
専門分野：生産加工学
研究テーマ：

曲がり穴放電加工システムの開発、断面変化穴放電加工システムの開発、超小型自律制御放電加工機構の開発

●日野 順市
Hino, Junichi



職名：教授
学位：工学博士（東京工業大学）
専門分野：機械力学
研究テーマ：

アクティブ動吸振器による振動制御に関する研究、工作機械のびびり振動発生に関するエキスパートシステム

●米倉 大介
Yonekura, Daisuke



職名：准教授
学位：工学博士（慶応義塾大学）
専門分野：破壊力学、機能性材料学
研究テーマ：

硬質薄膜被覆材の疲労破壊特性、スパッタリング法を用いた機能性薄膜の創製、粉体の付着を抑制する表面処理に関する研究…

第14回徳島大学研究者との集い 参加のお申し込み

必要事項をご記入の上、下記「問い合わせ先」までFAX又はE-mailにてお申し込み下さい。

申込締切：平成24年9月27日（木）

※インターネット上に申込フォームも用意しております。産学官連携推進部のホームページをご確認ください。

会社名			
住所	〒		
電話		FAX	

氏名	所属・役職	E-mail	懇話会	マッチング 相談会	参加の 有無
			参加 不参加		石田教授 有・無
			参加 不参加		日野教授 有・無
			参加 不参加		米倉准教授 有・無
					※どちらかに○印をお付け下さい



●交通アクセス

- 京阪中之島線：中之島駅から徒歩約5分（中之島行きに乗車）
- JR環状線福島駅、JR東西線新福島駅、阪神電車本線福島駅、地下鉄四ツ橋線肥後橋駅から徒歩8～10分
- 地下鉄御堂筋線淀屋橋駅から 徒歩16分
- JR大阪駅から徒歩20分

●大阪大学中之島センター

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-53
電話：06(6444)2100

●お問い合わせ先：徳島大学 産学官連携推進部 電話：088(656)7592
FAX：088(656)7593 E-mail：center@ccr.tokushima-u.ac.jp
URL：http://www.ccr.tokushima-u.ac.jp/topic/topic-tsudoi.html